

渡辺専務理事(手前左)から新米を受け取る児童。能登町大屋根広場「みなとのニワ」



静岡から米、ミカン  
3市町の親子に  
被災地支援の一環で行われた静岡県の観光ツアーに

参加した七尾、珠洲、能登3市町の親子に16日、静岡県産の新米とミカンが配られ、ツアーを企画した関係者と再会を喜んだ。

ツアーは「グラウンドワーク三島」(同県三島市)が3、4、7月に2泊3日で行い、3市町の親子118人を無料で招待した。

能登町大屋根広場「みなとのニワ」には渡辺豊博専務理事(元都留文科大教授)ら4人が訪れ、新米「ゆめみしま」4キロと「由良みかん」2.5キロを手渡した。来年2月にもツアーを企画し、同3月には珠洲市と能登町で交流事業を予定している。